



2025 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 東 邦 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 佐 藤 稔
(コード番号 8 3 4 6 東証プライム)
問 合 せ 先
責任者役職名 総合企画部長
氏 名 円 谷 緑
T E L (024) 523-3131

長期経営計画「TXPLAN 2030」の計数計画見直しに関するお知らせ

2024 年 5 月 14 日に公表しました長期経営計画「TXPLAN 2030 (TOHO TRANSFORMATION(X) PLAN 2030)」の計数計画を下記の通り、上方修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. TXPLAN 2030 における計数計画の上方修正

(1) 修正内容

	2026 年度			2029 年度		
	修正前	修正後	増減	修正前	修正後	増減
連結コア業務純益	115 億円	190 億円	+75 億円	185 億円	275 億円	+90 億円
連結当期純利益	60 億円	105 億円	+45 億円	110 億円	170 億円	+60 億円
連結 ROE	3.0%	5.0%	+2.0%	5.0%	7.0%	+2.0%
連結コア OHR	77.0%	68.5%	△8.5%	67.0%	60.0%	△7.0%

(2) 修正理由

TXPLAN 2030 が順調に進捗していることに加え、足元での国内金利市場が当初計画よりも高い水準で推移し、今後も一定程度の上昇が見込まれることを踏まえて連結当期純利益等の計数計画を上方修正するものです。

なお、配当につきましては、当行の株主還元方針に基づき、実施していく方針です。

(参考)

【株主還元方針】

当行は、銀行業務の公共性に鑑み、内部留保の充実による健全性確保を基本に経営に取り組んでまいります。それを前提としたうえで、安定配当6円を基本とし、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向30%を目安に、業績の成果に応じて弾力的に株主の皆さま方への利益還元に努めてまいります。

※ 本資料に記載されている業績予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

＜本件に対するお問い合わせ先＞
東邦銀行 総合企画部企画課 永山・宇川
広報・社会貢献課 鈴木(仁)
電話：024-523-3131

以 上

- TXPLAN 2030が順調に進捗していることに加え、足元での国内金利市場が当初計画よりも高い水準で推移し、今後も一定程度の上昇が見込まれることを踏まえて計数計画を上方修正
- 最終年度である2029年度の当期純利益は170億円（当初計画比+60億円）と大幅な増益を計画し、ROEは7.0%まで上昇

連結	2026年度 当初計画	2026年度 修正後計画	増減	2029年度 当初計画	2029年度 修正後計画	増減
コア業務純益	115億円	190億円	+75億円	185億円	275億円	+90億円
当期純利益	60億円	105億円	+45億円	110億円	170億円	+60億円
ROE	3.0%	5.0%	+2.0%	5.0%	7.0%	+2.0%
コアOHR	77.0%	68.5%	▲8.5%	67.0%	60.0%	▲7.0%

【コア業務純益】

(単位：億円)

【当期純利益】

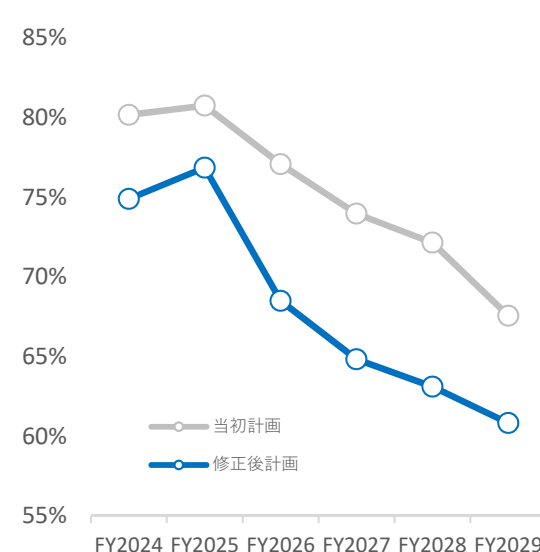
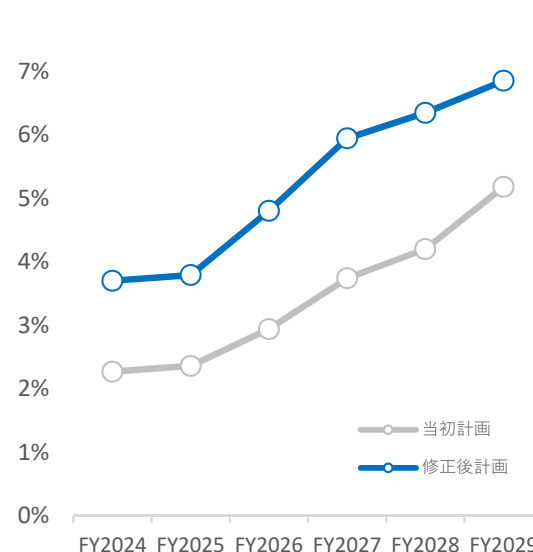
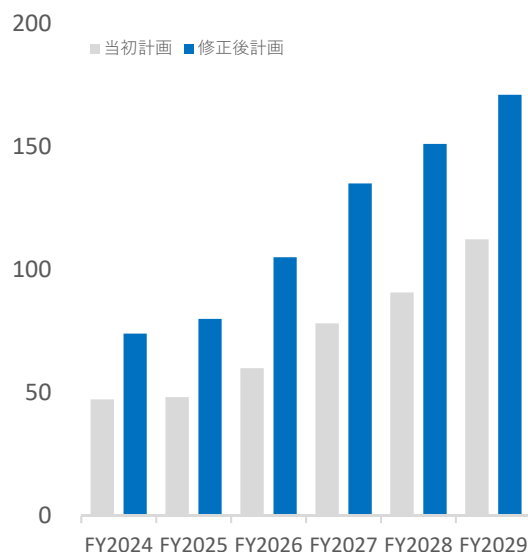
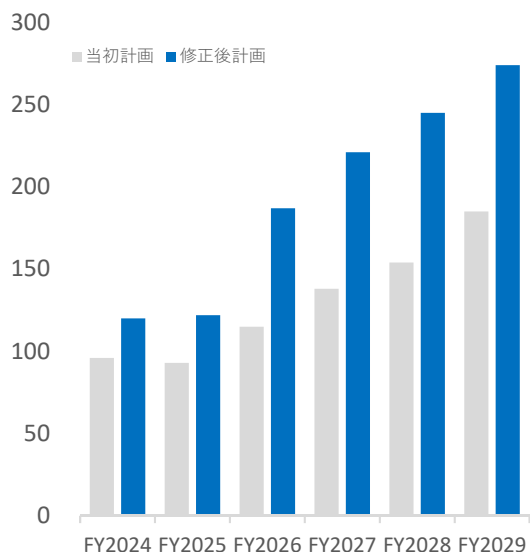
(単位：億円)

【ROE】

(単位：%)

【コアOHR】

(単位：%)



(単位：億円)

<メインシナリオ前提条件>

	2025/4~2026/3	2026/4~
政策金利	0.50% (現状維持)	0.75%
普通預金	0.200%	0.300%
定期預金 1年	0.275%	0.375%

連結当期純利益に与える影響額

